

過去問対策

とにかく「直前に回数別の過去問演習！」というのは、もはや受験生の常識ですよ。でも、どういうことを意識して回数別の過去問を解けばいいのでしょうか。ほんやり「解いた～」で終わらないために、過去問対策の大事なポイントを先輩受験生に聞いてみました。



1 “本番シミュレーション”が超大事！

時間感覚・体力配分をつかむ！

国試本番では、**1 問にかけていい時間は 1 分～1 分半程度**です。丁寧に解く必要はありますが、すべての問題をじっくり検討する余裕はありません。マークミスなどを見直す時間も考えると、1 問にかけられる時間はさらに減ってしまいます。『回数別』は 1 年分の国試問題が出題順に並んだ 3 分冊（問題集、画像集、解説集）で構成されており、問題集についているマークシートを使用して、国試本番さながらのシミュレーションをするのに最適です。時間を計って演習し、時間感覚や雰囲気、傾向などをつかんでおきましょう。

また、2018 年 2 月の 112 回国試では形式が変更され、3 日間で 500 問→2 日間で 400 問となりました。**1 日あたりに解く問題数は増加した**ので、この変更も考慮に入れ、2 日間のシミュレーションをしておくと、体力配分もつかめますよ。

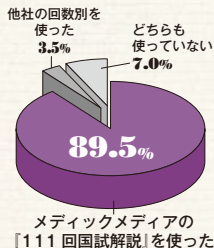
国試の雰囲気・傾向をつかむ！

『QB』は疾患別に系統だてて問題が並んでいるため、勉強しやすい仕組みになっています。しかし、分野も疾患もバラバラに出題される国試本番では、『QB』では簡単に思えた問題が、突如難問に感じられたりもします。『回数別』で国試の出題順に問題を解いておくと、**国試本番の雰囲気をバッチリ**つかめますよ。

2 “近年 3 回分”が超大事！

同一・類似問題が出題されやすい！

医師国試では前年度までに出題された問題の類似・ブール（同一）問題が繰り返し出題されます。特に、傾向が似やすい**近年 3 回分は最重要！**実際、国試では近年の問題が再出題される例があり**類似問題の約 20% は近年 3 回から出題**されています。しかも**再出題される問題のほとんどでは、前回出題時よりも正答率が上がります**。つまり多くの受験生がちゃんと過去問対策をしているわけです。



（112 回国試受験生全 10,010 人中 3,234 人を対象としたアンケート調査より）

3 本書のポイント!

ポイント1

QB オンラインで解説が読める シリアルナンバー付き!

QB オンラインとは、WEB 上で国試の過去問が演習できるサービスで、『QB』シリーズ (vol.1 ~ 7) または『回数別』シリーズ (110 ~ 112 回) に封入されているシリアルナンバーを登録すると、登録した巻の解説が読めるようになります (問題部分はシリアルナンバーを登録していない問題も読むことができます)。

ポイント2

正答率を全問題に掲載!

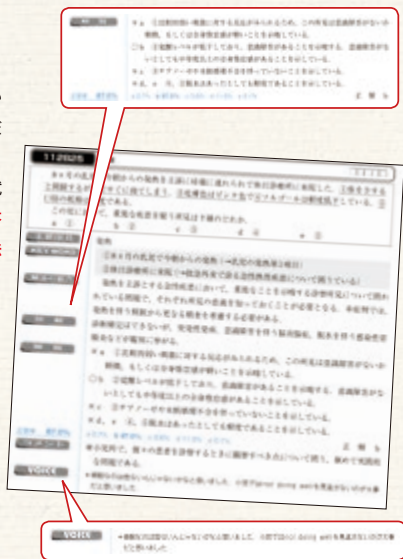
112 回の全問題に正答率を掲載しています。
7,000 人以上の国試受験生の回答データを分析し、
どの選択肢がどれだけ選ばれたのかがひと目で分かります。勉強のアクセントとして活用してみてください。

ただし、同じ問題がくり返し出題される医師国試では**既出問題の正答率は高くなりますので、「正答率の低い問題は飛ばして勉強しよう」という勉強法はしないように気をつけてください。**

ポイント3

先輩たちの生の声 “VOICE”

例年、大変ご好評をいただいているコンテンツ“VOICE”を今年も掲載しました。**112 回国試受験生による生のアドバイス**で、大学の先生では教えてくれない解法のコツ、考え方のポイントを伝授しました。



他にも活用ポイント満載!
詳しくはコチラ

